「お」で始まる語彙辞典（メジャー）

小説・ラノベの文章表現を
豊かにしよう

はじめに

こちらの語彙辞典は、
小説投稿サイト『小説家になろう』で公開している
【小説・ラノベの書き方講座｜ビジネス思考の創作論】の中の
『小説・ラノベの文章表現を豊かにする 50 音別の語彙辞典』を
ＰＤＦレポート形式に整理したものです。

多くの語を記憶することで、
あなたの文章表現力は
今よりも豊かなものとなります。

『１日５語ずつ』などのように目標を決めて、
今の自分が知らない語を暗記していきましょう。

なお、こちらの語彙辞典は
ノマドクリエイターのショウヘイが
趣味の一環で制作したものです。

商用で販売するつもりは一切ないので、
あなたの友人・知人の作家仲間に
自由に配布してくださって構いません。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

目次

はじめに 2

「お」で始まる語彙辞典（メジャー） 4

おわりに 30

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

「お」で始まる語彙辞典（メジャー）

おい - おい〕【追い追い】
［副］
順を追って。だんだんに。しだいに。「この問題は―（と）説明します」

おい - おと・す【追（い）落（と）す】
［動サ五（四）］
下位にあったものが勢力を増してきて、上位のものをその地位から追いやる。「首位の座から―・れる」追って、下の方へ落とす。「敵勢を谷へ―・す」

おい - ごえ【老い声】
盛りを過ぎて、老い衰えた声。

おい - さらば・える【老いさらばえる】
［動ア下一］《「おいさらぼう」から変化したもの》
年をとってみすぼらしくなる。年老いてよぼよぼする。「―・えて別人のようだ」

おい - だき【追（い）炊き／追い焚き】
［名］（スル）
①（追い炊き）炊いた飯が足りないとき、追加して炊くこと。また、その飯。
②（追い焚き）冷めた風呂などをもう一度火をたいて温めること。

追(お)いつ追われつ
追いかけたり、追いかけられたり。抜きつ抜かれつ。「―の大接戦」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

おい - の - いってつ【老いの一徹】
老人が、自分の決めたことをどこまでも押し通して、他人の意見を聞こうとしないこと。「―に手を焼く」

おい - の - くりごと【老いの繰（り）言】
老人が、言ってもしかたのないことを、くどくどと繰り返し言うこと。「―と聞き流す」

老(お)いを養・う
年老いたからだをいたわって、静養に努める。「故郷に戻って―・う」

おう - いつ【横溢】
［名］(スル)
水がみなぎりあふれること。また、気力などがあふれるほど盛んなこと。「―する若い力」「生気―」

おう - いん【押印】
［名］(スル)
印を押すこと。捺印(なついん)。「署名して―する」

おうおうに - して【往往にして】
［連語］
「往往」に同じ。「そういった間違いは―あるものだ」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

おう - か【押下】
［名］（スル）
押し下げること。特に、操作ボタンやキーボードのキーなどを押すこと。「実行ボタンを―する」

おうこう - かっぽ【横行闊歩】
［名］（スル）
自由気ままに大手を振って歩くこと。また、ほしいままに振る舞うこと。「天下の大道を―する」

おう - し横死】
［名］（スル）
殺害されたり、災禍などのため、天命を全うしないで死ぬこと。不慮の死。非業の死。「無念の―を遂げる」「旅先で―する」

おう - しゃ【応射】
［名］（スル）
敵からの銃撃に対して、こちらからも撃ち返すこと。

おう - じ【往事】
過ぎ去った事柄。昔のこと。「―を思い起こす」

おう - じ【往時】
過ぎ去った時。以前。「母校を訪ねて―をしのぶ」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

おう - じゅく【黄熟】
［名］（スル）
草木の実、特に稲・麦などの穂が熟して黄色くなること。こうじゅく。「稲が―する」

おう - せき【往昔】
過ぎ去った昔。いにしえ。往古。おうじゃく。「―を回顧する」

おう - だ【殴打】
［名］（スル）
ひどくなぐりつけること。素手または棒などで人のからだをひどくたたくこと。「顔面を―する」

嘔吐（おうと）を催・す
① 吐き気がする。
② はなはだしく不快に感じる。「あまりのずるさに―・す」

おう - のう【懊悩】
［名］（スル）
なやみもだえること。煩悶（はんもん）。「行き詰まって―する日々」

おう - よう【鷹揚】
［形動］［文］［ナリ］
《鷹（たか）が悠然と空を飛ぶように》
小さなことにこだわらずゆったりとしているさま。おっとりとして上品なさま。「―に構える」→大様（おおよう）

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

おう - れつ【横列】
横に並ぶこと。また、その列。「―に並び変わる」⇔縦列。

おう - ろ【往路】
行きの道。また、行き。「―は列車を使い、復路は飛行機にした」⇔復路。

おお - あきない【大商い】
① 手広い商売。また、取引額の大きい商売。「この年一番の―」⇔小商い。
② 取引で、売買高（出来高）が大きいこと。⇔薄商い。

おお - あぐら【大胡坐】
無遠慮にあぐらをかいて腰を据えること。「遠慮なく入りこんで―をかく」

おお - あじ【大味】
［名・形動］
① 食物の味にこまやかな風味が感じられないこと。また、そのさま。「料理が―でもの足りない」
② 物事が大まかできめの細かさが見られず、趣の乏しいこと。また、そのさま。「―な文章」「―な試合運びで敗れる」

おお - いり【大入り】
興行場などで、客がたくさん入ること。「―満員」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

おお - うけ【大受け】
［名］（スル）
非常によい評判を得ること。大変な人気を得ること。「―に受ける」「困ったあげくに出たギャグが―する」

おお - うつし【大写し】
［名］（スル）
クローズアップ。「画面いっぱいに―する」

おお - し・い【雄雄しい】
［形］［文］をを・し［シク］
男らしいさま。勇ましい。「難局に―・く立ち向かう」⇔女女（めめ）しい。

大手（おおで）を振・る
あたりをはばからないで、いばって歩くようすをいう。「疑いが晴れ、―・って歩ける」

大鉈（おおなた）を振る・う
思いきって切るべきものは切って整理をする。「予算削減に―・う」

おお - のり【大乗り】
調子が大いに出ること。「―に乗って歌いまくる」

大船（おおぶね）に乗（の）ったよう
信頼できる者に任せて、安心しきっているようす。親船に乗ったよう。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

大風呂敷(おおぶろしき)を広・げる
現実に合わないような大げさなことを言ったり、計画したりする。

おお - まがり【大曲（が）り】
道や川が大きく曲がっていること。また、曲がっている場所。「―のカーブ道路」

おおめし - くらい【大飯食らい】
飯をたくさん食べること。また、その人。飯ばかり食べて、役に立たない人をののしっていう。おおめしくい。

おお - もて【大持て】
大いにもてること。非常に人気があり、歓待されること。「若者に―の歌手」

おお - よわり【大弱り】
［名］（スル）
非常に困ること。「降ってわいた難題に―する」

おかし - がた・い【犯し難い】
［形］
立ち入ったり、干渉したりすることなどできない。「―・い気品がある」

おか - ぼれ【傍惚れ】
［名］（スル）
他人の恋人や親しい交際もない相手をわきから恋すること。自分のほうだけがひそかに恋していること。また、その相手。「同僚の妻君に―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

おがみ - たお・す【拝み倒す】
［動サ五（四）］
拝むように繰り返し頼んで、むりやり承知させる。「―・して金を貸してもらう」

おき - なお・る【起（き）直る】
［動ラ五（四）］
横になっていた者が、からだを起こして、きちんと座る。「床の上に―・る」「ベッドの上に―・る」

おき - ぬけ【起（き）抜け】
寝床から起き出したばかりのこと。起きがけ。起きしな。「―に一服すう」

おき - びき【置（き）引き】
［名］（スル）
置いてある他人の荷物を持ち逃げすること。また、その者。「駅の待合室で―される」

おく・する【臆する】
［動サ変］［文］おく・す［サ変］
気後れしておどおどする。おじける。「強敵と対戦しても―・することがない」

オクターブが上(あ)が・る
興奮して声の調子が高くなる。うわずる。「話に熱がこもって―・る」

おく - だん【憶断／臆断】
［名］（スル）
根拠もなく推し量って判断すること。「事実を確かめずに―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

奥歯(おくば)に衣(きぬ)着(き)・せる
物事をはっきり言わず、どこか思わせぶりに言う。→歯に衣着せぬ

奥歯(おくば)に物(もの)が挟(はさ)まったよう
思っていること、言いたいことをはっきりと言わずに、なんとなくぼかしている感じである。「―な返答」

噯(おくび)にも出さ・ない
物事を深く隠して、決して口に出さず、それらしいようすも見せない。おくびにも見せない。「自分の苦労など―・ない」

おく‐めん【臆面】
気後れした顔つき。臆したようす。「―もなくしゃしゃり出る」

おくれ‐ばせ【遅れ馳せ】
① 他の人よりも遅れて駆けつけること。「―に来る」
② 時機に遅れること。「―ながらお礼を申し上げます」

お‐ぐら・い【小暗い】
［形］［文］をぐら・し［ク］
少し暗い。薄暗い。ほの暗い。「木立の下の―茂み」

お‐こう【汚行】
道徳に外れた不名誉な行い。「―を働く」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

御里(おさと)が知(し)・れる
言葉遣いやしぐさによって、その人の生まれや育ちがわかる。よくない意でいう。

おさな‐がお【幼顔】
幼いときの顔つき。

おさまり‐かえ・る【納まり返る】
［動ラ五（四）］
その地位・境遇などに、すっかり満足したようすで腰を据える。「社長の奥様が―・っている」

御座敷(おざしき)が掛(か)か・る
① 芸者・芸人などが、客の座敷に呼ばれる。
② 会合などに招かれる。「テレビ局から―・る」

おし‐あらい〔‐あらひ〕【押（し）洗い】
［名］（スル）
洗濯物を、もまずに手のひらなどで押して洗うこと。また、その洗い方。

おし‐うつ・る【推（し）移る】
［動ラ五（四）］
年月・時勢などが変化していく。「時代が―・る」

おしえ‐さと・す【教え諭す】
［動サ五（四）］
物事の道理を相手がよく理解できるように、話して聞かせる。「こんこんと―・す」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

おし - がい【押（し）買（い）】
［名］（スル）
売る意志のない者から、むりやりに財物などを買い取ること。また、その人。⇔押し売り。→訪問購入

押(お)しが利(き)・く
他人を従わせる威力がある。

押(お)しが強・い
自分の意思どおりに強引に事を運ぼうとする。転じて、あつかましい。「―・いところが頼もしい」

おし - がり【押（し）借り】
［名］（スル）
相手の意を無視して、無理に金銭や品物を借りること。

おし - が・る【惜しがる】
［動ラ五（四）］
惜しいという気持ちを表す。残念そうにする。「―・る様子もなく差し出す」

おし - しずま・る【押（し）静まる】
［動ラ五（四）］
物音も立てず、静かになる。「迫真の演技に観客は―・った」

推(お)して知るべし
推し量ればわかるはずだ。容易に推察できる。「他は―」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

おし - なら・す【押し均す】
［動サ五（四）］
平らにする。平均化する。「―・してみれば成績は向上している」

おし - ぬぐ・う【押（し）拭う】
［動ワ五（ハ四）］
力を入れてふく。「額の汗を―・う」

押(お)しの一手(いって)
ひたすら目的を遂げようとする強引なやり方。「―でいく」

おし - ま・げる【押（し）曲げる】
［動ガ下一］［文］おしま・ぐ［ガ下二］
力を加えて曲げる。「鉄棒を―・げる」

おし - まわし【押（し）回し】
物事をあれこれ処理すること。また、顔がきくこと。「―が利く」

押(お)しも押(お)されもせぬ
どこへ出ても圧倒されることがない。実力があって堂々としている。押すに押されぬ。「―財界の大立て者」

おし - もんどう【押（し）問答】
［名］（スル）
互いに自分の見解を主張して、あとにひかず言い争うこと。「渡した、受け取らないで―を繰り返す」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

お - じょく【汚辱】
地位・名誉などをけがされることによる、はずかしめ。「―をこうむる」

お - すい【汚水】
汚れた水。汚物・廃液などを含む、家庭や工場などからの排水。「―処理」

おせ - おせ【押せ押せ】
《動詞「お（押）す」の命令形を重ねた語》
① 試合や勝負事などで、勢いに乗じて相手を一気に圧倒すること。「―で行く」「―ムード」
② 日程や仕事がたてこんで、時間の余裕がなくなること。「　仕事が―になる」

おそれ - げ【恐れ気】
恐れるようす。「―もなく」

お - そん【汚損】
［名］（スル）
物が汚れたり傷んだりすること。また、汚したり傷めたりすること。「器物を―する」

おため - ごかし【御為ごかし】
表面は人のためにするように見せかけて、実は自分の利益を図ること。じょうずごかし。「―の親切」「―を言う」

お - だく【汚濁】
［名］（スル）
汚れ濁ること。おじょく。「―した湖水」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

御茶(おちゃ)を濁(にご)・す
いいかげんに言ったりしたりしてその場をごまかす。「冗談を言って―・す」

おっとり - がたな【押っ取り刀】
急な出来事で、刀を腰に差す暇もなく、手に持ったままであること。急いで駆けつけることの形容に用いる。「―で駆けつける」

乙(おつ)に絡(から)・む
いつもと違って変に嫌みを言う。いつもと違って妙にしつこく言う。

男(おとこ)が廃(すた)・る
男としての面目がつぶれる。「ここでがんばらねば―・る」

男(おとこ)が立・つ
男としての名誉が保たれる。「ここで負けては―・たぬ」

おとこ - なき【男泣き】
［名］(スル)
男が激しい感情に堪えかねて泣くこと。「―に泣く」「友人の死に―する」

おとこ - もち【男持ち】
大人の男性が使うように作った品物。男物。「―の財布」⇔女持ち。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

お - どく【汚毒】
［名］（スル）
けがれや毒になるもの。また、毒物などで、水や空気をよごすこと。「海を―する」

おどり - あが・る【躍り上（が）る】
［動ラ五（四）］
① 喜びや驚きなどで、その場で飛び上がる。「―・って喜ぶ」
② 高い所へ勢いよく飛び上がる。「壇上へ―・る」「イルカが水中から―・る」

尾(お)に尾(お)を付(つ)・ける
物事を大げさにいう。尾ひれをつける。尾に尾を添える。

鬼(おに)が住むか蛇(じゃ)が住むか
どんな恐ろしいものが住んでいるかわからない。
人の心の底にはどんな考えが潜んでいるのか想像がつかない。

鬼(おに)が出るか蛇(じゃ)が出るか
前途にはどんな運命が待ち構えているのか予測できない。鬼が出るか仏(ほとけ)が出るか。

鬼(おに)が笑・う
実現性の薄いことや予想のつかないことを、からかっていう言葉。「来年のことを言うと―・う」

鬼(おに)の首を取ったよう
大変な功名・手柄を立てたかのように得意になるさま。「―な喜びよう」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

御鉢(おはち)が回(まわ)・る
《人の多い食事の席で、飯びつが回って自分の所へやってくる意から》
順番が回ってくる。「とうとう世話役の―・ってきた」

尾鰭(おひれ)が付(つ)・く
話が伝わる間に実際にないことが付け加わって大げさになる。「うわさに―・く」

尾鰭(おひれ)を付・ける
実際にないことを付け加えて話を大げさにする。「ささいなことに―・けて言う」

オブラートに包・む
相手を直接的に刺激するような表現を避け、遠回しな言い方をする。「―・んで発言する」

お - みかぎり【御見限り】
愛想をつかして見限ること。特に、なじみの店にしばらく行かないこと。

おもい - あぐ・ねる【思い倦ねる】
［動ナ下一］
いろいろ考えても良案が浮かばず、困りはてる。「―・ねて友人に相談する」

おもい - あま・る【思い余る】
［動ラ五（四）］
さんざん思い悩んで、どうにも考えが決まらなくなる。思案に余る。「―・って相談する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

おもい - あわ・せる【思い合（わ）せる】
［動サ下一］［文］おもひあは・す［サ下二］
他の事例を引き合いに出して考える。考え合わせる。「彼の言動を―・せると納得できる」

思(おも)い思わ◦れる
相手を思うし、相手から思われもする。互いに恋し合う。相思相愛である。

おもい - およ・ぶ【思い及ぶ】
［動バ五（四）］
考えつく。思い至る。「そこまでは―・ばなかった」

おもい - くら・す【思い暮（ら）す】
［動サ五（四）］
物思いにふけって日を過ごす。恋しく思いながら暮らす。

おもい - つの・る【思い募る】
［動ラ五（四）］
思慕の情がますます強まる。「―・る恋心」

おもい - ふけ・る【思い耽る】
［動ラ五（四）］
考えに没頭する。思いをめぐらす。「―・って樹の下を歩く」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

おもい - みだ・れる【思い乱れる】
［動ラ下一］［文］おもひみだ・る［ラ下二］
① あれこれと思い悩む。「心が千々に―・れる」
② 恋しさに心が乱れる。

おもい - めぐら・す【思い巡らす】
［動サ五（四）］
いろいろと考えてみる。あれやこれやと思案する。思い回す。「卒業後のことを―・す」

思(おも)いを致・す
特にある物事に対し心を向ける。また、時間的・空間的に遠く離れた物事に心を向ける。「先人の努力に改めて―・す」

思(おも)いを掛(か)・ける
深い恋情を寄せる。恋い慕う。また、執着する。「長年―・けた人」

思(おも)いを凝(こ)ら・す
心を集中して一心に考える。「新しい構想に―・す」

思(おも)いを遂(と)・げる
願っていたことを実現させる。望みを遂げる。「かねてからの―・げる」

思(おも)いを晴ら・す
心のわだかまりの原因を取り除いてすっきりした気持ちになる。恨みを晴らす。憂さを晴らす。また、望みを遂げる。「積年の―・す」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

思(おも)いを巡ら・す
あれこれと多方面に心を働かせる。「国の将来に―・す」

思(おも)うに任せ・ない
望んだとおりに事が進まない。「意見が続出して議事進行が―・ない」

おも‐がわり【面変（わ）り】
［名］(スル)
年をとったり病気をしたりなどして、顔つきが変わること。「以前より太って―している」

重(おも)きを置・く
重要と考える。重くみる。「生徒の情操教育に―・く」

重(おも)きをな・す
重んじられる。重要な地位を占める。「経済界で―・す」

おも‐だか【面高】
［名・形動］
鼻が高いなど、中高(なかだか)な顔のこと。また、そのさま。「―な美人」

玩具(おもちゃ)箱を引っくり返したよう
非常に散らかっていることのたとえ。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

おもっ - たる・い【重ったるい】
［形］
からだが重く感じられて、だるい。「冷えたので腰が―・い」

おもて - がまえ【表構え】
外側から見た、家屋・塀・門扉などの造り。「―のりっぱな家」

面(おもて)を冒(おか)・す
目上の人の気持ちに逆らうのを恐れずにいさめる。「―・して苦言を呈する」

面(おもて)を輝か・せる
喜び・興味・希望の思いがあふれて、生き生きとした表情を示す。「吉報に―・せる」

面(おもて)を曝(さら)・す
人前に顔を現す。「報道陣に―・す」

おも - や・せる【面痩せる】
［動サ下一］［文］おもや・す［サ下二］
顔がやせてほっそりした感じになる。顔がやつれる。「長患いですっかり―・た」

おも - やつれ【面×窶れ】
［名］(スル)
病気や心配事などのため、顔がやつれること。「―するほどの苦労」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

おもわく - ばなし【思惑話】
何か別の目的がありながら、それを隠してする話。

おも - わすれ【面忘れ】
［名］（スル）
人の顔を忘れること。「しばらく会っていないので―していた」

おや - かぜ【親風】
子に対して親の権威を振るうこと。「―を吹かす」

親（おや）が親なら子も子
親が悪事を働き、子もまた悪事を働いた場合、その親子を非難する言葉。

おや - なかせ【親泣かせ】
［名・形動］
子供の行いが悪くて親を嘆かせること。また、そういう子供。「―の夜遊び」

親（おや）の敵（かたき）のよう
① ひどく憎んだり嫌ったりするさま。
② 程度がはなはだしいさま。「―に飯を盛る」

親（おや）の欲目（よくめ）
親はわが子がかわいいため、実力以上に評価すること。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

親船(おやぶね)に乗(の)ったよう
頼りにしていると、心丈夫でいられるさま。大船(おおぶね)に乗ったよう。

おや - まさり【親勝り】
［名・形動］
子が親よりも才能・技能などですぐれていること。また、そのさま。「―な（の）器量人」

お - やみ【小止み】
雨・雪などが少しの間降りやむこと。「雨が―になる」

おやみ - な・い【小止み無い】
［形］［文］をやみな・し［ク］
少しの間もやむことなく続くさま。間断ない。「雨が―・く降る」

折(お)り紙(がみ)を付(つ)・ける
《美術品などに鑑定保証書をつける意から》
品物・人物などについて、信用できるものとして保証する。太鼓判を押す。

折(おり)に触れて
機会があるたびに。「―注意する」

おりめ - ただし・い【折（り）目正しい】
［形］［文］をりめただ・し［シク］
態度がきちんとしているさま。行儀作法にかなっているさま。礼儀正しい。「―・くあいさつする」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

折(おり)もあろうに
あいにくこんな時に。「―旅行の前日に寝込んでしまうとは」

折(おり)も折
ちょうどその時。「外出しようとした―電話が鳴った」

おり - よく【折好く】
［副］
その時、都合よく。「駅に着いたら、―電車が来た」⇔折悪(あ)しく。

おろおろ - ごえ【おろおろ声】
取り乱したときの、不安におびえ今にも泣きだしそうな声。「―を上げる」

終(お)わりを全(まっと)う・する
最後まできちんとやり遂げて、恥ずかしくないようにする。

尾(お)を振・る
《犬が飼い主にこびて尾を振る意から》
目上の者のご機嫌をとる。へつらう。

おん - いき【音域】
楽器や肉声が発することのできる音の高低の範囲。音の幅。「―が広い」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

おん - が【温雅】
［名・形動］
穏やかで上品なこと。しとやかなこと。また、そのさま。「―な人柄」

おん - がん【温顔】
穏やかな、あたたかみのある顔つき。温容。「―に接する」

おん - こ【恩顧】
情けをかけること。よくめんどうをみること。「―をこうむる」「―に報いる」

おん - しゃ【音写】
［名］（スル）
ある言語の語音を、他の言語の文字を用いて書きうつすこと。「梵語を漢字を用いて―する」

おんしつ - そだち【温室育ち】
大事にされて育ったために、世間の苦労を知らず、きたえられていないこと。また、そういう人。

おん - じゅう【温柔】
［名・形動］
① 穏やかで優しいこと。また、そのさま。温和柔順。「―な人柄」
② あたたかで柔らかな感じがすること。また、そのさま。

おん - じゅん【温順】
［名・形動］
おとなしくすなおなこと。また、そのさま。「―な人」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

おん - じょう【恩情】
情け深い心。慈しみの心。「―に富む」「―に感謝する」

おん - じょう【温情】
あたたかみのある優しい心。思いやりのある寛大な心。「―のこもった言葉」

おん - たく【恩沢】
《古くは「おんだく」とも》
人や物に利益や幸いをもたらすこと。また、そのもの。おかげ。恵み。恩恵。「文明の―に浴する」「―を施す」

おん - てん【恩典】
ありがたい処置。情けある取り計らい。「授業料免除の―がある」

おんと - ろうろう【音吐朗朗】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
声が豊かで、よどみなくはっきりと響きわたるさま。「―と声明文を読み上げる」

音頭(おんど)を取・る
① 大勢で歌うとき、調子を示すために先に歌う。
② 人の先に立って手はずを整え、実現するように皆をまとめてゆく。「乾杯の―・る」「歓迎会の―・る」

女(おんな)の腐(くさ)ったよう
ぐずぐずしていて優柔不断な男をあざけっていう言葉。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

負(お)んぶに抱(だ)っこ
何から何まで人の世話になること。他人の好意に甘えて頼り切ること。「親に―の状態」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

おわりに

【あいさつ】

語彙辞典を読んでくださり、ありがとうございました。

当レポートを制作したショウヘイと申します。

私は旅する作家という生き方を理想としています。日本や世界の各地を渡り歩くことで、作家としての引き出し（人生経験）を増やし、より良質な物語を世に送り出し続ける……そんな自由な作家生活です。

また、個人で稼ぐ能力を身に付けることで、会社に時間と場所を縛られない人生の実現も目指します。個人で安定した収入を得られれば、出版社の編集者の言いなりにならずに、自分が心から好きな物語を創作できるようにもなるからです。

私が運営しているブログ【ノマドクリエイターの執務室】では、旅する作家になるために役立つ情報を発信しています。もちろん、小説家・ラノベ作家として活躍するために役立つ創作論も公開しています。

時間と場所に縛られない、新しい作家の生き方に興味がありましたら、ぜひブログを覗いてみてください。

↓　　↓　　↓

■ ブログ：ノマドクリエイターの執務室（https://ノマドクリエイター.net）

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.